

NEW!

● 他地区への拡大あり

沖縄県浦添市(港川地区)

アスファルト製と可搬型ゴム製を使い分け、
道路のカーブに沿ってスムーズ横断歩道を設置



ノウハウを有する機関と連携し

進め方を的確に選択



広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

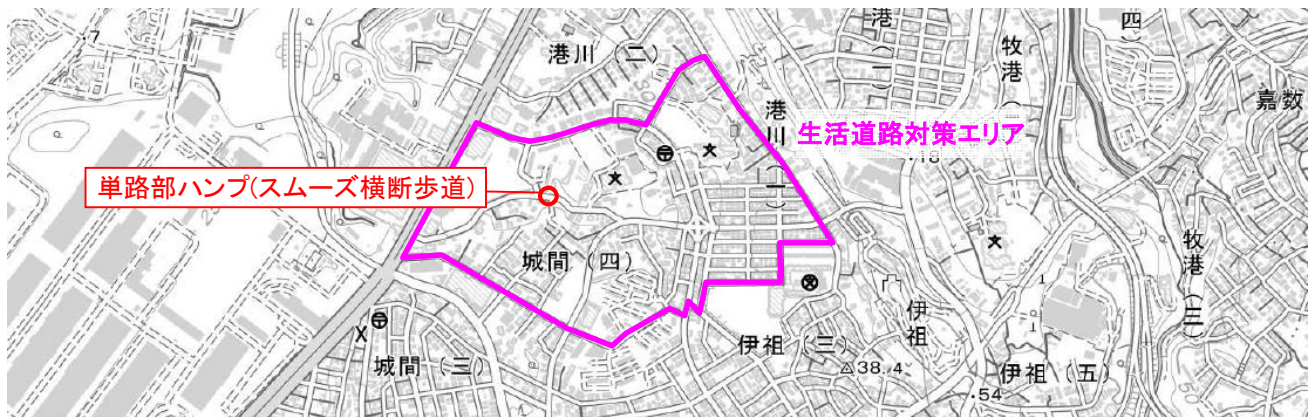
| | |
|---------------|--|
| 整備計画等 策定状況 | 生活道路対策エリア |
| 対策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ ゾーン 30 に指定 ➢ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所 他 |
| 生活道路の 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国道 58 号からの抜け道利用が多い ➢ 送迎車による登校が多いため、通学時間帯に交通量が増加 |

設置の特徴

アスファルト製と可搬型ゴム製を使い分け、
道路のカーブに沿ってスムーズ横断歩道を設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

| | 内容 | 備考 |
|--------------|--|------------------|
| 設置箇所数 | 1箇所 | |
| 設置時期 | 2017年12月 | ・社会実験として設置した後に存置 |
| ハンプの形状 | 【単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)】 ・平坦部の長さ 3m(最短部) ・ハンプの高さ 10cm ・傾斜部の勾配 平均5% | ・技術基準を参考 |
| 構造及び 付属施設 | ・アスファルト製ハンプ(平坦部) ・可搬型ゴム製ハンプ(傾斜部) ・ゴム製ポール ・仮設看板 | ・可搬型ゴム製ハンプ: ベンガラ |
| 技術的な工夫 | ◆ハンプの平坦部をアスファルト舗装にすることで道路のカーブに沿った設置を可能とし、傾斜部に可搬型ゴム製ハンプを用いることで、理想的なサイン曲線形状で設置 ◆可搬型ゴム製ハンプは、一部に特殊サイズ(幅 25cm)を適用し、道路幅にあわせて設置 ◆現況の歩道高さ(15cm マウントアップ)をスムーズ横断歩道(高さ 10cm)に合わせて切り下げ、歩きやすさを確保 ◆ハンプ下の下水道マンホールは、可搬型ゴム製ハンプを外すことで管理 ◆路面排水がハンプでせき止められることに留意し、街渠ますにドレーンを形成することで排水路に直接落とせるようにした | |

設置状況



概観



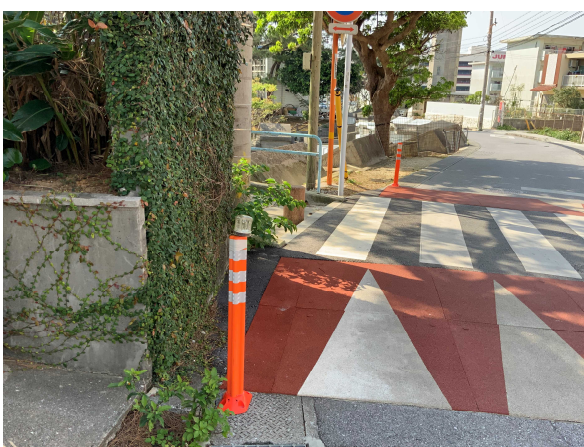
通行状況



アスファルト製ハンプと
可搬型ゴム製ハンプの併用



歩道部とのすりつけ



ゴム製ポール及び自発光灯



仮設看板

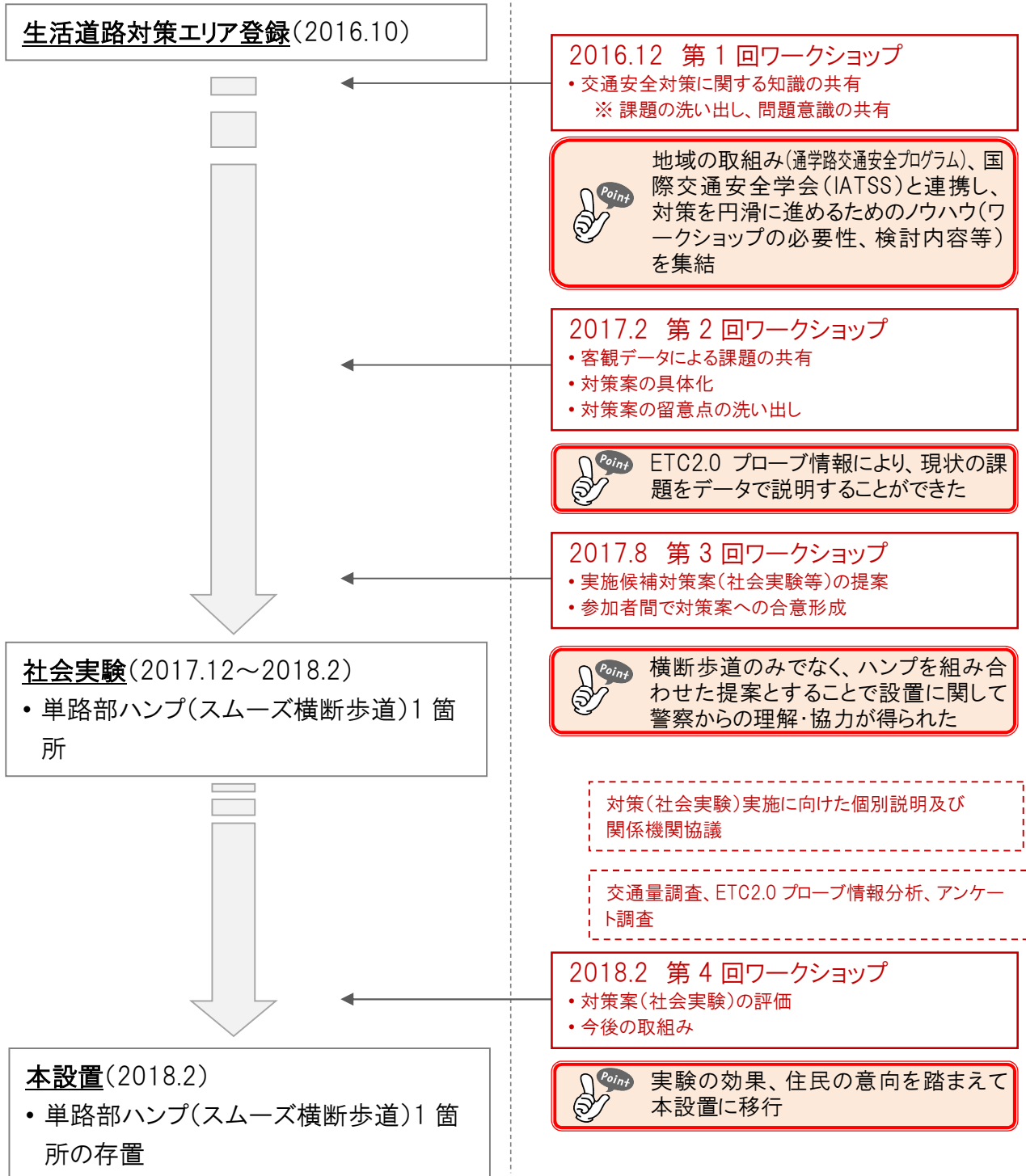
合意形成
のポイント

ノウハウを有する機関と連携し
進め方を的確に選択


設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)

合意形成の概要



PDCA 中での合意形成の内容とポイント

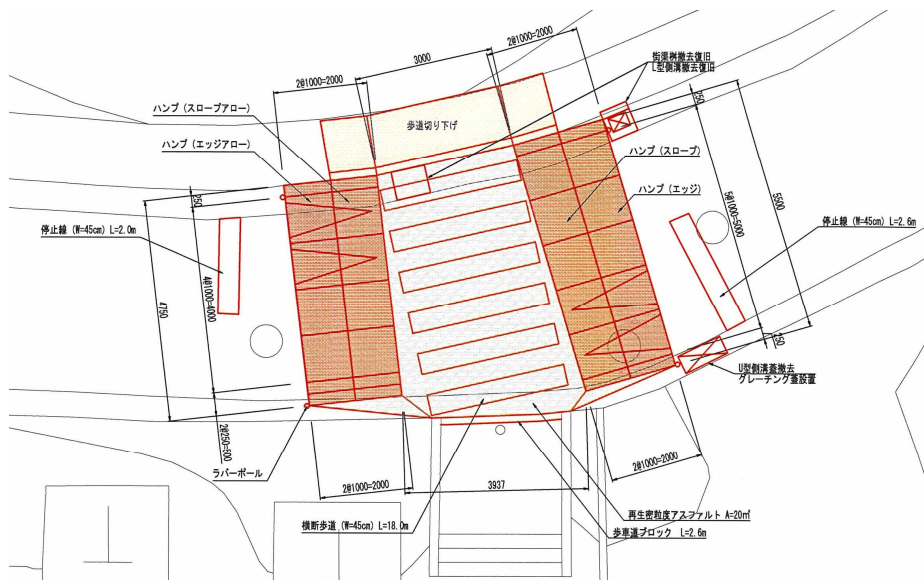
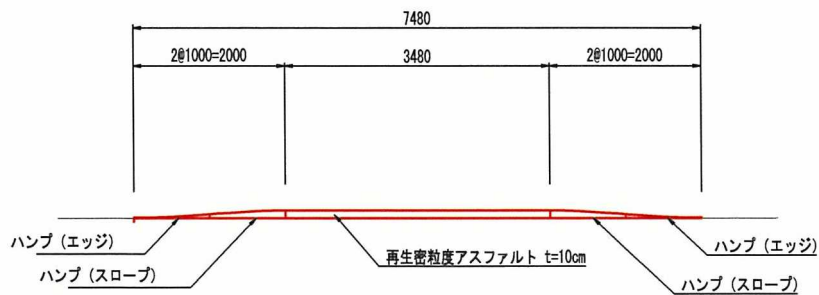
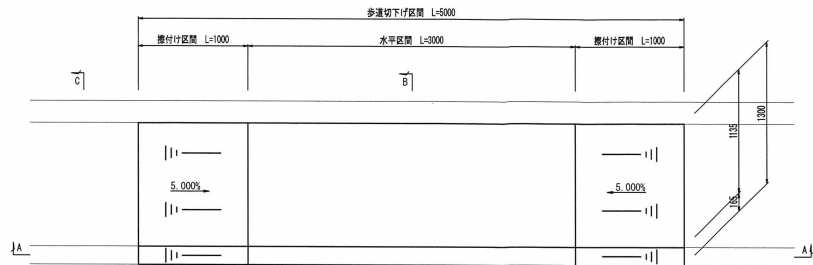
| 段階 | 説明手法・内容 | 道路管理者の考える合意形成のポイント  |
|--|--|---|
| 現況調査 計画策定 <Plan> | <p>❖ 第1回ワークショップ</p> <p>実施日 2016年12月12日 参加者 自治会、学校関係者、沖縄総合事務局(オブザーバー)、浦添市、浦添警察署、国際交通安全学会(IATSS)</p> <hr/> <p>❖ 第2回ワークショップ</p> <p>実施日 2017年2月27日 参加者 自治会、学校関係者、沖縄総合事務局(オブザーバー)、浦添市、浦添警察署、国際交通安全学会(IATSS) 提示資料 交通量調査結果、ETC2.0プローブ情報、対策メニュー</p> <hr/> <p>❖ 第3回ワークショップ</p> <p>実施日 2017年8月30日 参加者 自治会、学校関係者、沖縄総合事務局(オブザーバー)、浦添市、浦添警察署、国際交通安全学会(IATSS) 提示資料 対策案、実証実験計画</p> <hr/> <p>❖ 第4回ワークショップ</p> <p>実施日 2018年2月9日 参加者 自治会、学校関係者、沖縄総合事務局(オブザーバー)、浦添市、浦添警察署、国際交通安全学会(IATSS) 提示資料 効果検証資料、アンケート結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 検討の立ち上げ段階から、浦添市における既存の取組み(通学路交通安全プログラム)と連携し、対策を検討 • ノウハウを有する機関の協力により、合意形成の進め方や対策に関する的確な知識が得られた • • 現状の課題は、ETC2.0プローブ情報を活用することで、住民の感覚をデータでわかりやすく説明できた • 横断歩道のみでなく、ハンブを組み合わせた提案とすることで設置に関して警察からの理解・協力が得られた • 実験の効果、住民の意向を踏まえて本設置に移行 • 4回のワークショップ実施により、関係者と十分なコミュニケーションを図ることができた |
| 対策実施 <Do> | <p>❖ 本設置</p> <p>運用開始 2018年2月 ※社会実験 実施日 2017年12月~2018年2月 内容 単路部ハンブ(スムーズ横断歩道)の設置</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 可搬型ゴム製ハンブを用いた構造とすることで、“ダメならいつでも撤去する”という姿勢を示し、住民に安心感を与えることができた • 社会実験後に存置 |
| ↓ | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 <Check></div> | | |
| ↓ | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">対策改善 <Action></div> | | |

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

| | |
|--------------------------|---|
| <p>円滑な検討に 結びついた点</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ノウハウを有する機関の協力により的確な進め方を選択できた。 ◆ 4回のワークショップにより、十分なコミュニケーションを確保した。 |
| <p>考えられる 今後の工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 可搬型ゴム製ハンブは、マンホール部分のみ取外せるような対応ができるとうい。(現場での加工も考えられる) ◆ ゴム製ポールに取り付けた自発光灯は紛失する恐れがあるため、今後は自発光鋸の設置も考えられる。 |

その他参考資料

❖ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)設計図



提供:浦添市

NEW!

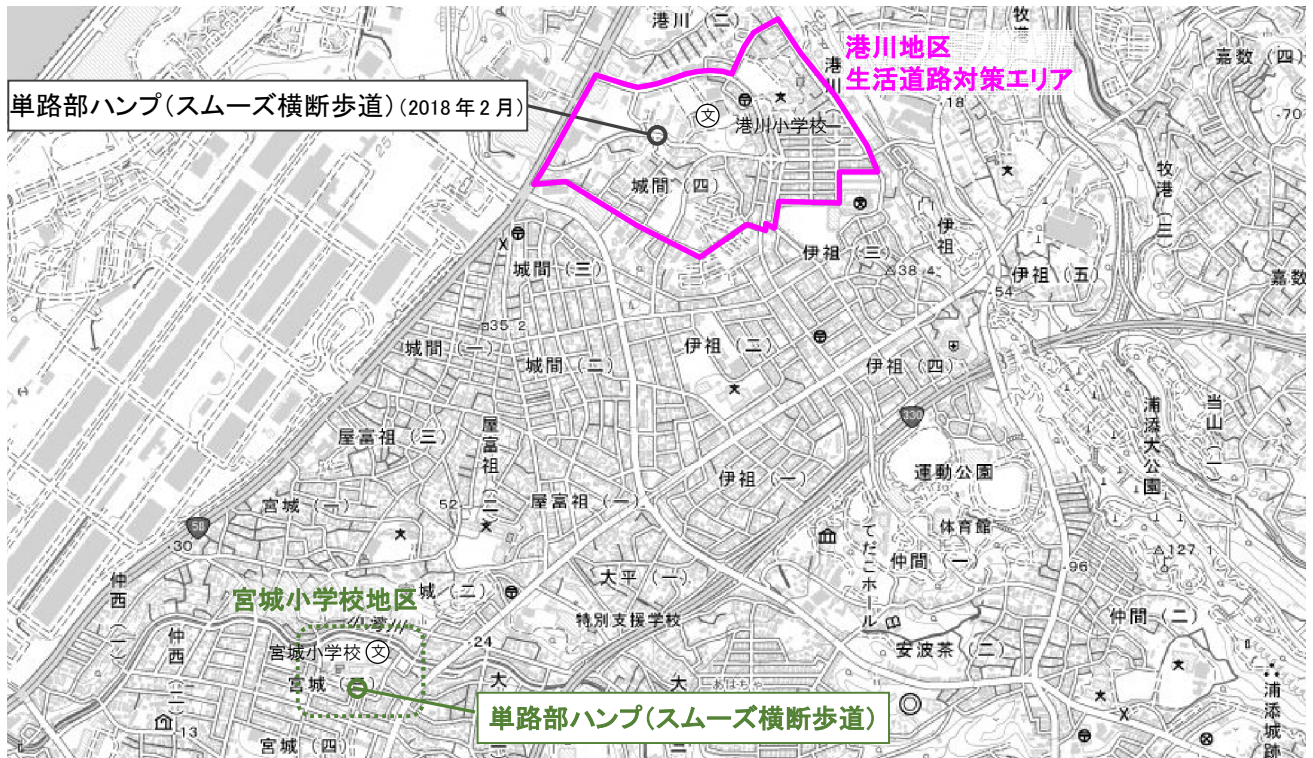
沖縄県浦添市(宮城小学校地区)

他地区
への拡大

生活道路対策エリア外の 周辺地区でもスムーズ横断歩道を設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

宮城小学校地区

| | |
|---------------|--|
| 整備計画等 策定状況 | — |
| 対策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所 他 |
| 生活道路の 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 通学路安全対策プログラムにおいて、学校・警察との意見交換で対策が必要とされた |

設置内容

| | 内 容 | 備 考 |
|--------------|--|---|
| 設置箇所数 | 1 箇所 | |
| 設置時期 | 2020 年 3 月 | |
| ハンプの形状 | <p>【単路部ハンプ（スムーズ横断歩道）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平坦部の長さ 4m ハンプの高さ 10cm 傾斜部の勾配 平均 5% | <ul style="list-style-type: none"> 技術基準を参考 傾斜部はサイン曲線で施工 |
| 構造及び 付属施設 | <ul style="list-style-type: none"> アスファルト製ハンプ 平坦部・傾斜部のカラー化 路面表示 警戒標識 | <ul style="list-style-type: none"> 薄層カラー舗装 平坦部・傾斜部：ベンガラ |
| その他の対策 | <ul style="list-style-type: none"> イメージハンプ | |
| 技術的な工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ◆設置箇所が平坦・直線であったため、傾斜部も含めてすべてアスファルト舗装による施工とした ◆スムーズ横断歩道の直近に交差道路があるため、スムーズ横断歩道を通じた車両が速度回復しないようにイメージハンプを設置 | |

NEW!

沖縄県浦添市(宮城小学校地区)

設置状況



概観(スムーズ横断歩道とイメージハンプ)



概観



現道とのすりつけ



現道とのすりつけ